

事務事業 No./名 称	■サービス部門 環境-28 名越クリーンセンター処理事業 □支 援 部 門						
主管課	環境センター(名越クリーンセンター)		関連課	環境部各課			
分野名	生活環境						
目標 (目標値)	収集されたごみを適正に処理する。 適正な処理 100%						
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考		
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
	事業の対象者数	103,596人	103,718人	103,703人			
運営資源 状 況	決算値(千円)	244,799	253,062	264,248			
	(国・県)						
	(負担金等)	48,029	48,236	55,808			
	(一般財源)	196,770	204,826	208,440			
	人員配置数	9.1	9.1人	9.1人			
	人件費(千円)	75,388	81,437	82,002			
	協 働 の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	320,187	334,499	346,205			
	市民1人当 りの経費(円)	1,807	1,888	19,495			
	対象者1人 当りの経費(円)	3,091	3,225	3,339			
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒						
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
1時間当たりの焼却量	△	目標値	2,500kg/h	2,500kg/h	2,500kg/h	2,500kg/h	2,500kg/h
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	2,464kg/h	2,435kg/h	2,384kg/h	2,399kg/h	

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止									
名越クリーンセンター処理事業	244,799千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要	市民、事業者から排出されるごみを適正に処理するための焼却施設、粗大ごみ処理施設の運転及び維持管理を行う。													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	延命化工事の具体的内容を確定させていく過程を正確に把握し、計画的かつ効率的な維持修繕等を実施する。		
課題解決のための取組	延命化工事の工程会議等に現場の立場から積極的に参加し、今年度計画している維持修繕等の内容と突き合わせする等、関係者との相互理解を図った。	取組の結果	□解 決 □未解決
未解決の課題	延命化工事の実施に伴う、施設運営への影響とその対応		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切○ 要改善△ (評価の視点を参照) ➡	①効率性	○	今後の 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了	
		②妥当性	○		延命化工事は1炉を稼働させながら行うため、稼働中の焼却炉の適切な運転はもとより、工事中の自区外処理分についても適切に他へ搬送させる等、綿密な管理が求められる。延命化工事後は、ごみ減量化施策や新焼却施設建設の動向を見据えながら、適切な処理体制を検討していく。	↓	課長等名
		③有効性	○			B	環境センター担当課長(名越) 遠藤 哲
		④公平性	○				

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
名越クリーンセンター処理事業	主な個別事業	1,171 薬剤等消耗品費	37,865	35,867	○	○	○	○
		1,171 施設燃料費	4,483	4,429	○	○	○	○
		1,171 施設維持修繕料	120,000	111,816	○	○	○	○
		1,171 電気工作物定期点検手数料	776	773	○	○	○	○
		1,171 ごみ質検査手数料	519	482	○	○	○	○
		1,171 作業環境調査業務委託料	463	357	○	○	○	○
		1,171 クレーン年次点検業務委託料	810	810	○	○	○	○
		1,171 環境調査業務委託料	2,556	2,153	○	○	○	○
		1,171 焼却施設運転管理業務委託料	81,458	81,458	○	○	○	○
		1,171 精密機能検査業務委託料	1,506	1,367	○	○	○	○
		1,171 洗車排水汚水槽清掃業務等委託料	1,069	973	○	○	○	○
		1,171 粗大ごみ等計量用トラックスケール賃借料	3,374	2,639	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							